

平成30年度 人体構造学（マクロコース）総括試験 (千田隆夫)

2018 (平成30) 年6月14日 (木)

【 注 意 】

- 1) 試験時間は9時～11時30分(150分)である。
- 2) 問題用紙は、(千田分)5枚、(松田分)1枚である。
- 3) 解答用紙は、(千田分)6枚、(松田分)4枚である。
- 4) 解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 5) 解答用紙のホッチキス止めをはずしてバラバラにしないこと。
- 6) 試験終了後、問題用紙を持ち帰ってよい。
- 7) 3色(赤、紺、黒)の色鉛筆を配布する。試験終了後、返却すること。

【1】 次の各問の答を、a～eの中から1つ選べ。

①咽頭腔に直接つながっていないのはどれか。

- a. 鼻腔 b. 上顎洞 c. 食道腔 d. 喉頭腔 e. 口腔

②最外層が外膜であるのはどれか。

- a. 卵管 b. 胃 c. 肝臓 d. S状結腸 e. 食道

③医学生の実習が死体損壊罪に問われないのはなぜか。

- a. 医学生は難しい入学試験に合格したから。
b. 医師法で死体解剖は医師と医学生の特権とされているから。
c. 死体解剖保存法で医学生に解剖資格が与えられているから。
d. 献体者が医学生の実習を望んでいるから。
e. 法解釈上、違法性が阻却されるから。

④後腹膜臓器はどれか。

- a. 脾臓 b. 胃 c. 膵臓 d. 胆嚢 e. 卵巣

⑤上腸間膜動脈の分布域でないのはどれか。

- a. 膵臓 b. 空腸 c. 盲腸 d. 胆嚢 e. 十二指腸

【2】次の各問の答を、a～eの中から2つ選べ。

①静脈血が門脈に流入するのはどれか。

- a. 副腎静脈 b. 上直腸静脈 c. 肝静脈
d. 脾静脈 e. 腰静脈

②結腸に見られるのはどれか。

- a. 輪状ひだ b. ハウストラ c. 腸絨毛 d. Peyer 板 e. 大網ひも

③脾臓に接触するのはどれか。

- a. 脾臓 b. 肝臓 c. 左結腸曲 d. 腹大動脈 e. 腸骨稜

④中胚葉に由来するのはどれか。

- a. 尿管上皮 b. 副腎髄質 c. 大胸筋 d. 小腸上皮 e. 表皮

⑤静脈血が流れるのはどれか。

- a. 臍動脈 b. 腹腔動脈 c. 冠状動脈 d. 肺動脈 e. 鎖骨下動脈

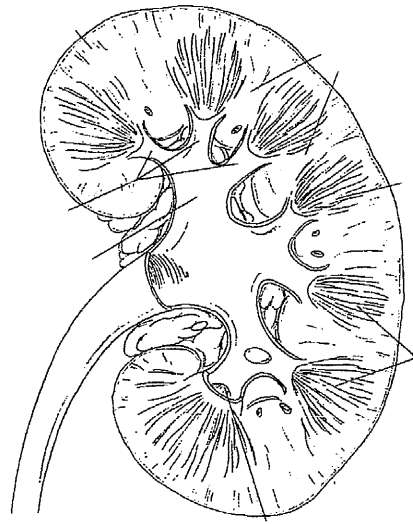
【3】 次の各文の下線部が正しければ○を記入し、誤っていれば下線部を修正せよ。

- ① 手の第2指（示指）の手掌側の皮膚の知覚は、橈骨神経に支配される。
- ② 通常、受精は子宮腔でおこる。
- ③ 下副腎動脈は腹大動脈より分岐する。
- ④ 胸管は下半身と右上半身のリンパを集める。
- ⑤ 網嚢は発生過程における左腹膜腔に由来する。
- ⑥ 臍の高さの皮膚知覚はT5に支配される。
- ⑦ 大腿神経は仙骨神経叢から出る。
- ⑧ 左右冠状動脈には心臓の収縮期に血液が流れる。
- ⑨ 乳房からのリンパは腋窩リンパ節に注ぐ。
- ⑩ 子宮は子宮円索によって骨盤側壁につなが止められている。

【4】次の構造を指定された色で着色せよ。

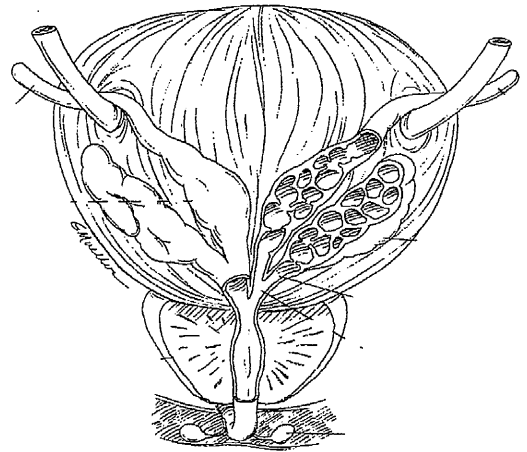
① 腎臓の前頭断面を示す。

- ・腎柱 → 赤
- ・腎錐体 → 紺
- ・小腎杯 → 黒



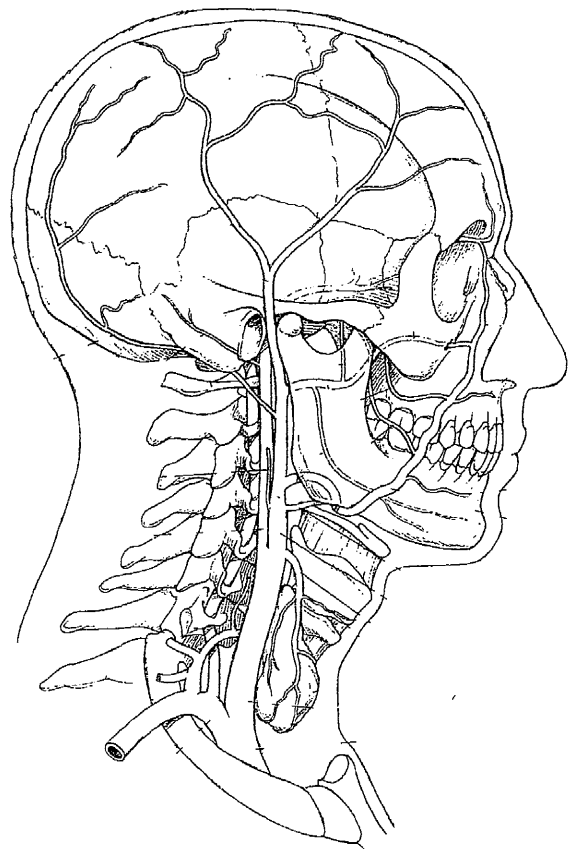
② 膀胱の後面～前立腺（開放）～尿道を示す。

- ・尿道球腺 → 赤
- ・精管膨大部 → 紺
- ・尿管 → 黒



③ 頭頸部の動脈系を示す。

- ・顎動脈 → 赤
- ・顔面動脈 → 紺
- ・上甲状腺動脈 → 黒



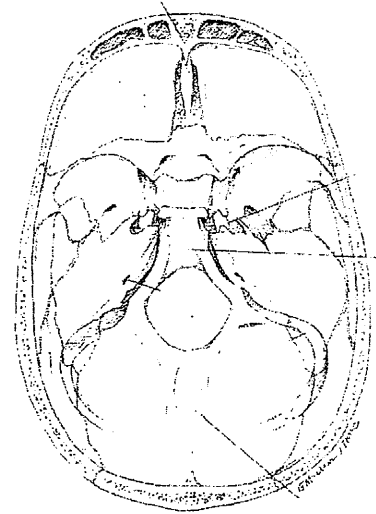
【5】指示にしたがって図を描け。

- ①下垂体の正中断面を描き、引き出し線を用いて主な部位の名称を入れよ。
(前後を明示すること)。

②内頭蓋底である。

次の静脈洞の走行を指定された色で記入せよ。

- ・海綿静脈洞 (赤)
- ・上錐体静脈洞 (紺)
- ・S 状静脈洞 (黒)



【6】次の人名を冠した語句を簡潔に説明せよ。図を用いることを推奨する。

- ① Bauhin 弁
- ② Winslow 孔
- ③ Müller 管

【7】門脈の定義を述べよ。人体中にある門脈を列挙して、その存在部位と走行を述べよ。

【8】左迷走神経は胃の前面を走り、右迷走神経は胃の後面を走る。その理由を発生学的に説明せよ。

【9】右気管支と左気管支は対称ではない。左右でどのような違いがあるか。また、非対称である必然性について考察せよ。

【10】精巣について以下の問いに答えよ。

- (1) 精巣は後腹壁に発生するが、最終的に腹腔内ではなく陰嚢内に収まる。精巣が陰嚢内になければならない理由は何か？
- (2) 左精巣は右精巣よりやや位置が低いことが多い。なぜか？

以上

解答を解答用紙に記せ。

短文試験（正誤・訂正）

次の文が正しければ（○）を、誤っていれば下線部を訂正し、空欄があれば埋めよ。

1. 『オートガイ舌筋、オートガイ舌骨筋、顎舌骨筋、顎二腹筋、広頸筋、舌』を下顎の表層から深層へ並べると（ ）となる。
2. 軟骨骨化は、膜内骨化より早く始まる。
3. T1椎骨の上から出る脊髄神経をT1と呼ぶ。
4. もっとも長く側頭骨の中を通る脳神経は、内耳神経である。
5. 椎体のすぐ背側を走るのは、黄色靱帯である。
6. 高音は蝸牛管の頂点に近い方で判別される。
7. 腕橈骨筋は正中神経に支配される。
8. 正円孔は中頭蓋窩と外頭蓋底を連絡する。

長文試験

9. 右大腿骨の解剖学的特徴を図解し、名称を付せ。
10. 右方を見た時に複視を訴える患者（右図、上段：左方を見た時、下段：右方を見た時）にもっともありそうな事態を、眼球の運動に対する筋と支配神経の関係から、解剖学的に説明せよ。
11. 下腿の深静脈を列举して、骨との位置関係がわかるように図解し、解剖学的特徴を記せ。
12. 大臀筋と中臀筋の起始停止の相違が明らかになるようにして図解し、作用を記せ。
13. 交感神経が上位ニューロンから虹彩へ到達する経路と、交感神経の虹彩への作用を記せ。
14. 各脳神経が頭蓋骨を通過する部位を、解答用紙の内頭蓋底の左半分に、例にならって赤鉛筆で明示して名称を付し、各脳神経の番号に対して（1）神経の名称、（2）通過する部位の名称を記せ。
15. 浅指屈筋は中節骨に、深指屈筋は末節骨に停止する。これを可能にする腱の構造を図解せよ
16. 50歳の男性が左頸部の腫瘍でリンパ節郭清を行ったのちに、左上肢を肩より挙上できないと訴えている。首の左右回旋は問題ない。背部を見ると、（1）左肩がやや下がり（2）左肩甲骨は外側に偏位して、翼状肩甲を呈している（右図）。解剖学的にもっともありそうなことを説明せよ。

